

畑中 健司さん

■進学先：東京大学 理科 I 類

■滝研在籍期間：高2～高3

HP 掲載可

■滝研について

こんにちは。勉強していますか？高2から高3までの2年間滝研を利用させていただいた畑中健司です。滝研では主に自習室を利用していましたが、2年次はリッチーのスピーキング授業を受けていました。僕は中1から英語の勉強を授業で始め、一度も外国に行ったこともなく今までやってきたわけですが、帰国子女向けのこの授業を受けても全然大丈夫でした！高校だとスピーキングを除いた英語を主に扱います。やはり英語も言葉の一つということで、意識的に話す練習をしておくとかリーディングやリスニング、ライティングでも役立つので、おすすめです！英語が伸び悩んでいる人はぜひスピーキング練習を取り入れてみましょう。一見大学合格へ向けては回り道に見えることも、やっておくと周りに差をつけられます。入試に出ないから話さない、のではダメです。

自習室は滝から近いのでおすすめです。滝から割と微妙な距離にありますが、走れば運動不足解消にもなって良いです。夜9時まで友達と一緒にいられるのはなかなか青春だとも思います。雪の降る日の夜8時くらいに友達と近くの唐揚げ屋さんに行ったのがいい思い出になっています。

スタッフの人もとくに干渉してくることもなく皆優しいです。また、滝研は参考書がいっぱい置いてあって、借りることもできるのでいいと思います。

■学習について

数学 苦手だった。1年生では2次関数で完全に躓いた。数学が苦手な数Ⅲで留年しそうだった兄に勧められ、高1の夏休み前までにはチャートを数Ⅲまで終わらせ、その後高3の夏までに3周した。しかし、高3の東大オープンでは1問もできない。筆者には何が足りなかったのか。それは、

1. 応用問題を解いていなかった。
2. やたらいっぱい問題を解いていた。
からだ。

1. について：数学は基本ができれば応用もできる、というのは得意な人だけに当てはまるのであって、一般人には適用されない。応用問題をやらずに応用問題はできるようにならない。そして一般人は学んでから実際にできるようになるまでに半年はかかるから、高3の夏から過去問を解き始めるのでは遅い。苦手な人ほど難しい問題に早く手を出すべきである。直近の過去問を直前期にとくのは、過去問が一番「今年でない問題」であり、「できなくて萎えるだけ」だからくれぐれもやめよう。

2. について：応用問題ができるようになるのは応用問題をたくさん解いたからではない。むしろ、一題一題への取り組み方であろう。そこで、数学の問題集を買う時は、「なるべく問題数が少なく、解説が多いもの」を選ぶべきだ。30題以下で妥当である。なぜならそうでないと終わらないからだ。そしてどれか一冊に絞って、何回も解く。問題を暗記するのではなく、色々考えてみる。筆者はこのことに共テ後気づいたが遅すぎた。結局本番では「5完した！」と思いきや、計算間違いと問題文の読み間違いで3完だった。

物理 数学と同じで、基本ができてでも応用できない科目。基本問題と応用問題に差がない科目でもあるため、同じように「問題数が少ないもの」をいろいろかんがえながら何周もすべきである。

以下は苦手でもなかった科目で、あまり参考にならないかもしれないそうだ。

生物、化学 覚えればできる。物数ができない人は大抵暗記のほうが得意だから、できる。化学の計算は、別でそろばんなど計算力のトレーニングをするのが効果的。鉄緑会東大化学問題集はありえないくらいわかりやすい参考書。

英語 単語帳見なくても、英語の本読んでればできるようになる。せっかくもらったLEAPを微塵にも活用せず、本を読んでたらなんかできるようになった。あと、大学受験じゃなくてTOEFLやIELTSの勉強した方が将来役立つと思う。英作文は高校用の物が英検その他よりもかなり優れているので、しっかり活用しよう。

国語 採点する時はたしかにポイントしか見ないこともあろうかとは思いますが、自分の答案にそのポイントが入っていたとて何の意味があろうか。むしろ、解答例を見るときは、方向性だけ確認して、あとは美しい文章を書くため、文構造や語彙に注目すること。ポイントが入っていたとて日本語が読みにくかったら意味ない。この文章がよみやすいといいな。

社会 覚えればできる。最近出た「大学の先生と学ぶ初めての地理総合」は良書。

■また、以下のようなことも大事でしょう。

列挙する。

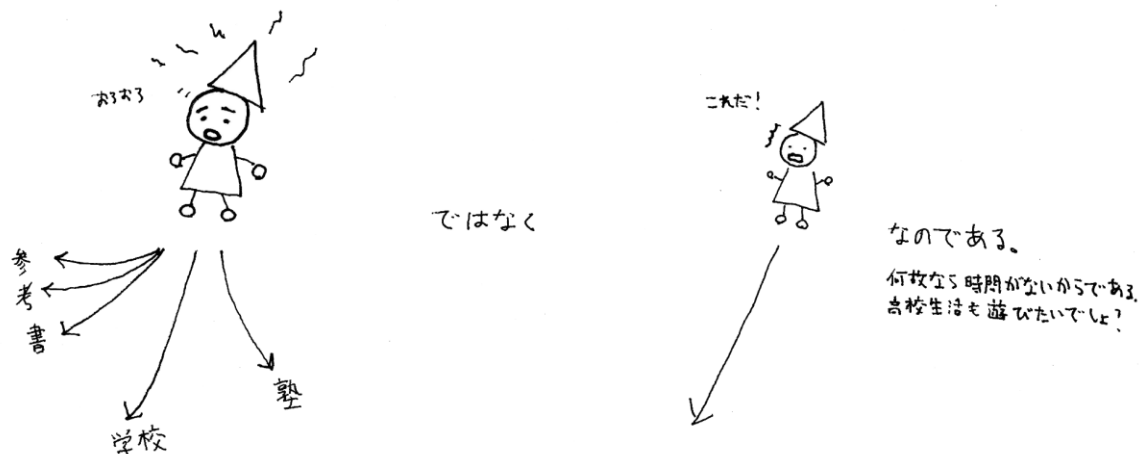
- ・大きくて薄い参考書を買うこと。赤本のように無駄に分厚かったり開いて机に置きにくかったりするものはやる気減退の原因になりうる。過去問はネットで印刷する。
- ・瞑想をすること。だまされたと思ってやってみると、意外と効率が上がる。
- ・良い成績をとる。高1でみんな勉強してないときにより成績をとるとなんとなくいい気持がするもので、もっと勉強したくなる。ただし、良すぎる成績をとると周りから期待され過ぎて精神がすり減る。
- ・友だちと勉強する。50音順が近い人だと、入試の時一緒の部屋だったりするので出席番号の近い友達と一緒に勉強する。東大と共テは50音順だった。
- ・孤独になること。僕は適度に遊んでいましたが、意識的に人付き合いを悪くしていた。今年東大に現役で受かった人で、毎日友達と一緒に帰っていた人や頻りに友達と外食をしてい

た人は1人しか知らない。現役で受かりたいなら1人でいる時間を増やすべき。1人になる勇気も覚悟のうち。

参考書についての心構え

参考書は買うな！

「英語のいい参考書がないかな」などと考えている人はいないだろうか。当然、本屋さんに並んでいる魅力的な学参の数々の内容をすべて頭の中に収めることができれば、大学受験で無双できるのだろうが、一冊の参考書でも完璧にしようとするれば意外と時間がないものである。だからこそ、参考書に関しては、迷ったら買うな！と言いたい。塾のテキストも、授業でやったプリントもあるのだから、ここでさらに自分で買った参考書をやったとて全部完璧にできるわけがない。大学受験の世界は「何をやるか」より「何をやらないか」が重要であるので、塾も行っているし授業も聞いているし参考書もきちんと自分で買っているような典型的優等生は、塾、学校、参考書のうち心の中でどれか一つに絞り、残り二つは適当にこなす勇気が必要であろう。



英語

滝の授業を受けていれば何も買わなくていいが、授業の進みが遅すぎるというのであれば文法書、英文解釈、単語帳一冊をやって、あとは英語の新聞や本でも読んでおけばよいだろう。学校で配られる文法書はやたらわかりにくいので、関正雄の本を推奨する。ただ、彼は文法はいいがいかんせん長文問題集の日本語が美しくない。竹岡広信の参考書は無難だが良すぎることもないので、結局一番は何も買わないことかと。単語帳はある程度覚えたら捨てていい。単語帳はつまらないので本読んでの方がよほど面白い。そして面白くない勉強はやる価値がない。筆者自身、高1の夏以降は殆ど単語帳を開いていないが小テストの成績が悪かったこと以外では困らなかった。英文解釈は「英文解釈教室」や「英文熟考」が楽しそう。

数学

フォーカスは基本問題をきちんとするのは当たり前としか言いようがないが、応用問題は別の参考書を使った方がいい。なんというか、解説が足りない。河合の東大オープンの過去問や入試数学の掌握はいい感じに問題が少ないので、章末問題をやるのではなくこっちをやるべきだったと思っている。数学が苦手でも絶対に答えは見ないこと。

国語

学校のやっただけになるので、本当に一冊もいない。鉄緑会の古典問題集にあったが、「読書してますか。してなければ、せめて新聞くらい読みましょう。」

物理

授業ではどうしても足りない。「理論物理への道標」のような、少し発展的な本を一冊完璧にすること。

化学

化学の新演習、新研究さえあれば、あとは何もいない。2桁×2桁を暗算でできるようにすると強い。筆者にはできない。

生物

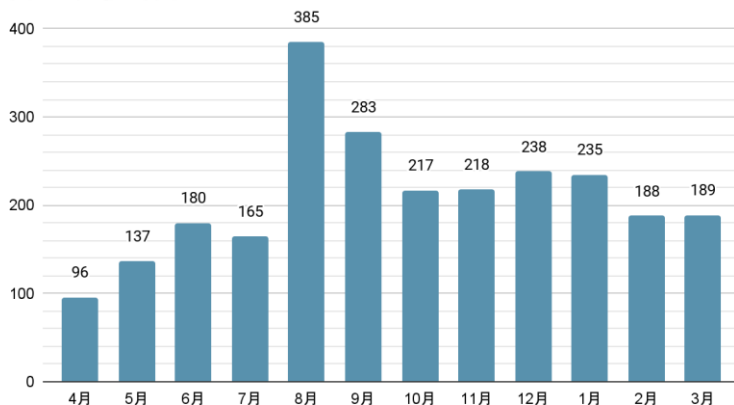
問題集にないところも入試で記述させられることがままあるので、詳しい教科書のようなものをきちんと読み込むのが良い。社会の勉強と一緒に。

地理

授業中寝るな。

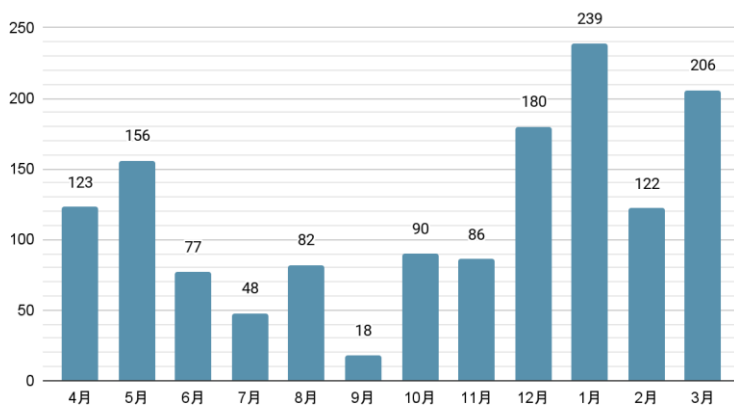
(3) 参考資料

高1の勉強時間



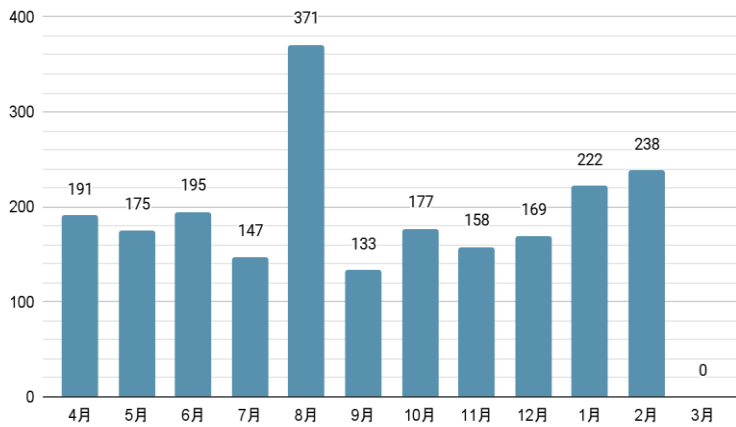
計 2531 時間

高2の勉強時間



計 1427 時間

高3の勉強時間



計 2176 時間

高1のほうが高3より勉強時間が少なく見えるのは、学校での特別授業などがカウントされていないため。家、滝研での自習時間のみ含む。スタディプラスでの記録を用いた。高3までで 6134 時間。

最後に、僕の好きな漢詩を紹介しておきたいです。ここまで読んでくれてありがとう！

除夜作 高 適

旅館の寒灯 独り眠らず

客心何事ぞ 転凄然

故郷今夜 千里を思う

霜鬢明朝 又一年